

あかしん

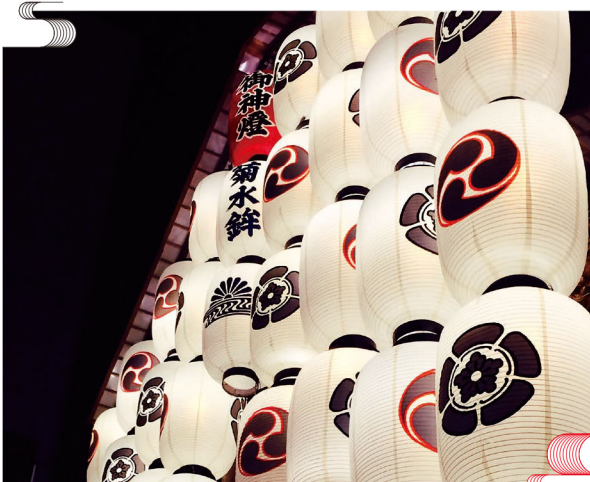
わが町、わが店、この道、出会いとコミュニケーション あかしん新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbun.net> <発行所>あかしん新聞店 実店舗/旭多摩式園字金下37番地 <0569>724356 掲載店/沼津市作町4丁目161番地 <0569>35-2861 印刷・制作/株式会社 新聞ビル

ヒビ

Human Communication Partners
半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市南千町1番地の2 |
TEL 0569-29-2525 FAX 0569-29-4500

PTC Group



No.003

祇園祭（七月）

コンコンチキン、コンコンチキン。

七月の京都は祇園祭一色。コンコンチキンの祇園囃子が流れる街中で、カ月に及んで様々な神事や行事が行われる。そのハイライトは山鉦巡行。御神霊の神興渡御に先立ち、山鉦が続々と巡行して市中の邪気を祓い清める。その数、前祭と後祭あわせて三十四基。最大級の鉦は、二十人の囃子方を乗せ、約五十人の曳手に曳かれ、重量十二トン・高さ二メートルの巨体を揺らし、市中の囃れを一身に集めて進んでいく。そうして役目を果たした山鉦は、巡行が終わると、豪華な懸装品をただちに外され、すぐさま解体される。集めた邪気を市中に四散させないように。

御神霊のために、民衆のために、自らが穢れにまみれ厄魔を鎮めるお役目を、千二百年の間、果たしてきた山鉦たち。勇壮で美しくあるからこそ、その運命は残酷で胸を穿つ。

だから私は、巡行前日の青山の夜、そんな山鉦をひとつひとつ訪ねて、心のなかでそとねぎらいの声をかけるのだ。毎年ありがとうね、明日がんばってね。

そしたら、こんな声がどこからか聞こえてくるような。

「今年も来たんかいな、ご苦労さん」

「年ぶりやなあ。まあゆつくりしていき」

「今年の提灯どうさ？ ええ塩梅に灯ってるやろ」

「明日、お役目無事に果たせるよう、神さんによろしくお祈りしててな。」

ひいさま（松根裕美）

京都生まれ、京都育ち。

学生時代は日々を問わず語学や作文に多く携わる。高校時代、真千生主催学校茶道団体輪読コンテストにて優秀賞受賞。第18回千生家ハワイセミナーに招待。京都私学ESS選抜主催英語唱大会優勝。英語唱大会優勝。大学時代、世界遺産「鴨神社」で十二重王朝舞を学び、名月豊枝家で舞を奉納。現在は京がたりの舞台活動に加え、一般社団法人さののカラーコーディネーター協会認定講師として、さのの・色・ことばに関わる各種レッスンやコンパニオンを、名古屋を中心に各地で展開。さののカラーワークやセレン和髪レッスンなど、地方や海外からも生徒が訪れる人気講座を運営。

Instagram @hironimatsune

藤間勘卒

1969年に名古屋で生まれて、1977年にデビュ。

日本舞踊家（家名 藤間流 名駒）/奏師としてNHK「日曜美術画」や「花の舞・花の宴」奏者兼吉（東京大学名誉教授）との「以心伝心・以身伝心」。久田保一郎（小鼓方 大倉流15代宗家）との「秋風の奥」など放送や舞台に数多く携わる。作/編曲家として「世界デザイン博覧会」テーマ館音楽。名古屋市芸術祭主催公演テーマ曲。関西二胡会オババ、合唱団「羽陀殿君大勢衆」（深井丸、黄国寺所蔵）「おとほし」（あいちオケファスチア・曲）。資生堂「浄土宗」王様御用印付下（光善山 附屬研究所蔵）などを手掛ける。名古屋大学 音楽学部 作曲学科卒業。日本福祉大学 社会福祉学部を経て、現在、東海学園大学 教育学部にて講師。



ひいさま※藤間勘卒 幻燈館

「祇園祭」動画を YouTube でご覧いただけます。

QRコードを読み取っていただくか、「ひいさま祇園祭」で検索して下さい。



ひいさま※藤間勘卒の

ホームページはこちら

